

あなたはどっち？
邦画派 洋画派

アップなんば校(2025.9.1～22)

目次

1. 企画概要

2. ペルソナ

3. サイトへの流入経路

4. ページ構成

4. デザイン

5. 期待効果

6. 感想

企画概要

ユーザーの好みに合わせた映画作品紹介サイト

ユーザーがTOP画面から「邦画」または「洋画」の画像をクリックすると、それぞれのジャンルごとにお勧め作品が表示される。

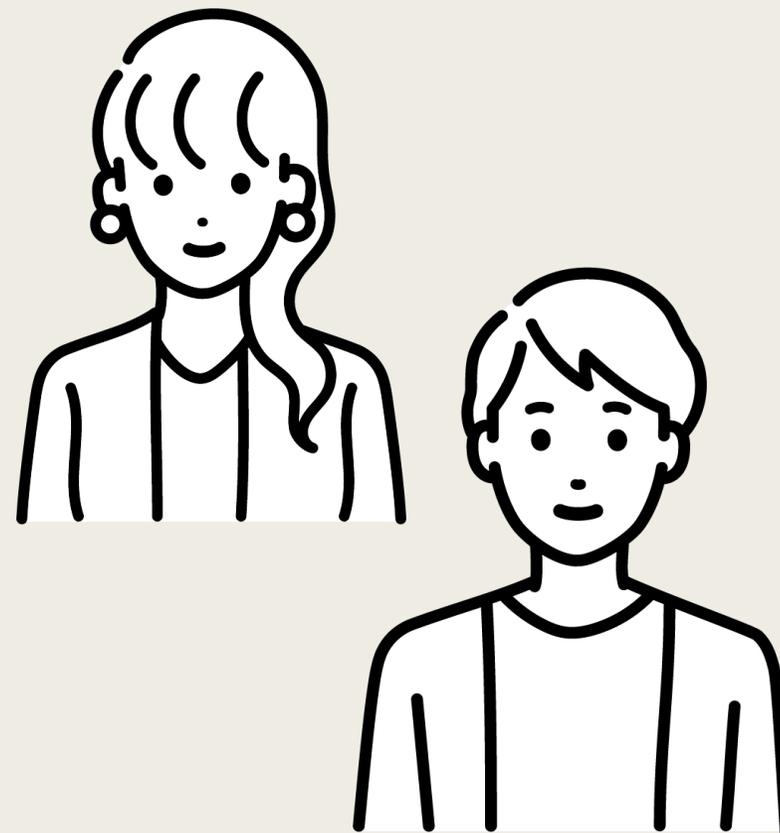
ジャンルは、感動 ホラー ミステリー 恋愛 コメディ と多様な5ジャンルに分けることによって、よりユーザー好みの作品に導く

ペルソナ

映画に興味のある20代後半の男女

●映画とのかかわり方

- ・映画オタクではないけど、月に1~2本程度は必ず観る
- ・「話題作」は一応チェックするが、ポスターやジャケットの雰囲気ですでに直感的に選ぶ
- ・映画館・配信サービス（Netflix、Amazon Prime、U-NEXT）を両方使う
- ・評価サイトよりも、直感的に「おしゃれ！面白そう！」と思えるかで決める



サイトへの流入経路

- ・ SNSからの流入

20代後半は映画の情報をSNSでも仕入れるので、ここが強力な経路
ストーリーやXの投稿でリンクを付けて投稿

- ・ 検索(SEO)からの流入

[映画タイトル+あらすじ](#) [映画タイトル+感想](#) [ジャンル検索](#) など

- ・ 外部サイトのリンクから流入

映画関連のブログ、ニュースサイト、まとめサイトなどにリンクを貼ってもらう
ことで流入。

ページ構成

TOP



上下の画像にカーソルを合わせると邦画、洋画の文字が表示されてそれぞれのページに飛べる

各紹介ページ
(邦画、洋画)



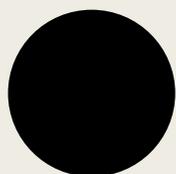
上部のジャケット画像をクリックすると、その作品の詳細ページに飛ぶ

デザイン

テーマ

シックでおしゃれ 動画配信アプリのような雰囲気(参考サイト：Netflix)

カラー...映画のスクリーンや暗闇を連想させる黒と、光を連想させる蛍光黄色を使用



#000000



#EDFF00



フォント...視認性が高く読みやすいものを使用

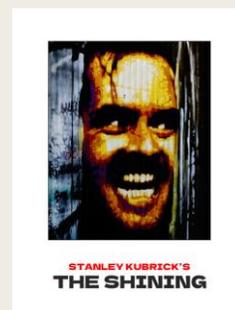
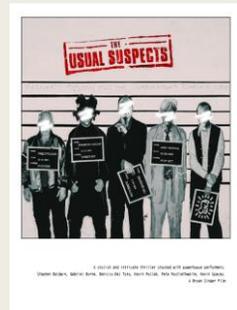
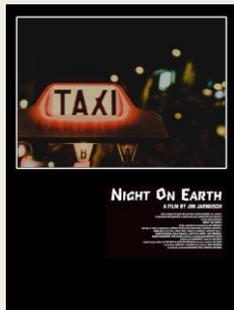
ZEN 角ゴシック New

Regular 400

人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできな

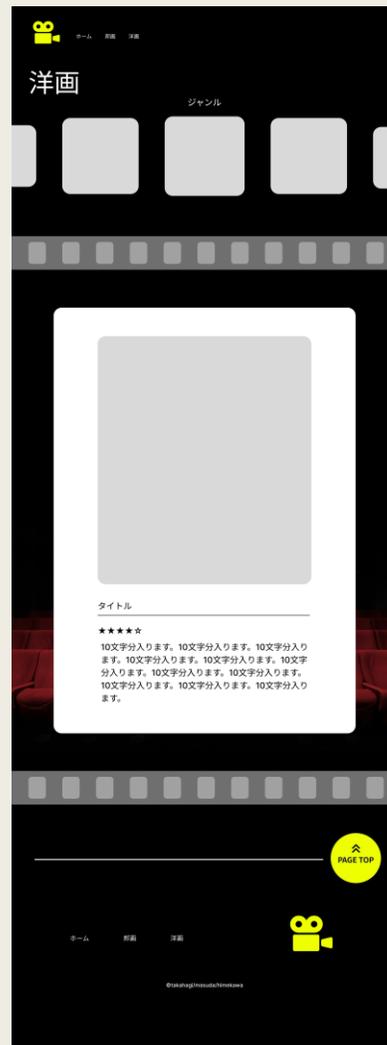
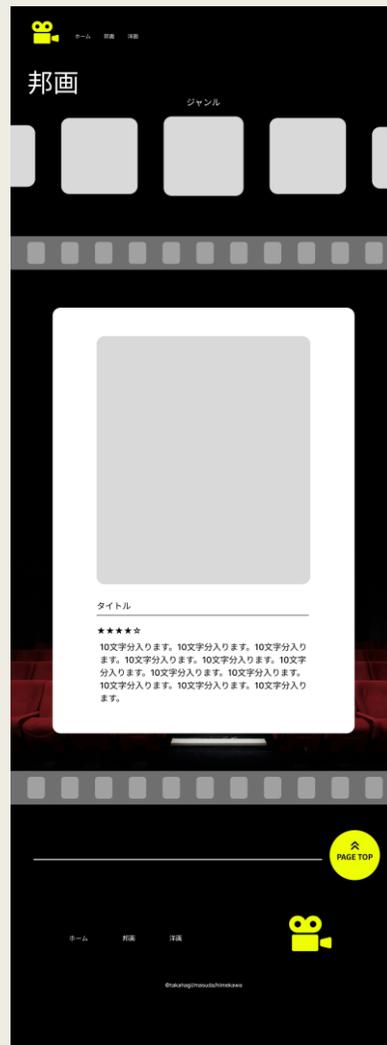
映画ジャケットデザイン

著作権に配慮し、映画ジャケットは本来のものを少しオマージュして全て新しく作成。
各々の映画の雰囲気は残しつつ、統一感のあるデザインに。



デザインキャンプ

PC版



モバイル版



サイトURLとQRコード



https://clarenet.co.jp/column/kensyu/20250922_movie/top.html

完成ページ

PC版



モバイル版



期待効果

サイト構成面

ユーザ自ら選択・クリックを重ね、オススメ作品にたどり着く

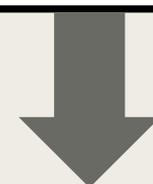


- ・ユーザーに選択を委ねることによって、「観たい！」という気持ちを助長させる

- ・直観的に選べることによって飽きさせず、離脱率を減らせる

デザイン面

見やすくシンプルで、ジャケットを引き立たせることにこだわったデザイン



- ・映画ジャケットを大きく見せるレイアウトにより、作品の魅力や世界観を直観的に伝えられる

- ・おしゃれなデザインを重視することで、InstagramやXでシェアされやすくなり、自然流入が増加

感想(高萩)

チームで担当箇所を分業することで、効率的に制作を進めることができたと思います。制作にあたっては常にユーザー目線を意識し、実際にサイトを訪れた方が少しでも見やすく、楽しんでいただけるように工夫しました。

自分は主にサイトで使用する画像の作成を担当しましたが、映画の持つ雰囲気や世界観を直感的に伝えつつ、著作権に配慮する点に苦労しました。しかし、その中で工夫を重ねることで、よりオリジナリティのある表現に挑戦できたと思います。

チームでの協力と役割分担を通じて、多くの学びを得ることができました。

感想(姫川)

今回の実習生企画では、当初はこの期間内に終わられるか不安もありましたが、話し合いを重ね実際に取り組んでいく中で、想像以上に順調に進んでいったことに驚きました。

それぞれが役割をしっかりと担い、都度意見を出し合いながら進められたことが大きな要因だと感じています。

チームで一つのものを作り上げることも難しさもありますが、それぞれの得意分野で意見を出し合えたことによって今回はスムーズに完成までたどり着くことができたのではないかと思います。

感想(増田)

3人というメンバーで一つの企画を考えるのは初めてで、一人で作る時よりも自分ひとりではできない新しい発見がたくさんありました。

内容もそうですが、デザインを考えるのに秀でたお二人だったので、かなり早くデザインや構成、完成までスピード感をもって仕上げることができました。

また、途中でここはこうしたいという良い案もでてきて、よりよいサイトを制作できたと感じました。

また、得意分野ごとに分担して作成したことでそれぞれの個性がでています。



ご清聴
ありがとうございました

高萩 姫川 増田